

かながわ便り

Vol.69

MAR/APR 2005



ナンパウン中学校落成式に集うポーオ民族の女性たち（ミャンマー国ティハムス工村）

撮影：近田

子ども育てずして国育たず

日本には今“カッコイイ”大人、子どもの見本となる大人がどのぐらいいるのだろうか？
子どもは大人の背中を見て育つというが、ミャンマーにはそんな大人がたくさんいる。

地球市民の会かながわはミャンマー国シャン州タウンジー郡の山岳少数民族ポーオ民族が暮らす地域で、自然を愛し、思いやりに溢れ、「子どもは宝です」と胸を張る、誇り高いポーオ民族の姿に共感し、ともに活動を始めてから4年目を迎えた。

その間学校修理・改築5校、給水計画3村、学校寮建設1校の協力活動を行ってきた。この活動を通してポーオ民族との信頼関係は着実に築かれていった。その中で私たちは、なんと多くの事を彼らから学んだことか、お互いができることをし、同じ地球市民として国境を越えて支え合っていかなければ明るい未来は存在しないのではないだろうか？ (い)



「心に栄養たりていますか」	2
インフォメーション	4
地球の仲間から	6
ボランティア体験記	8
寄付・活動報告と予定	9
トークセミナーのお知らせ	12

心に栄養足りていますか！？

事務局 伊吾田善行

心の栄養不足！日本

最近いつ感動の涙を流しましたか？最近いつ顔が真っ赤になるほど怒りましたか？最近いつ大声で笑いましたか？…

「コラ！！」と大人が他人の子どもを叱る光景を最近ほとんど見かけなくなりました。あの光景は見ていて妙に心が温かくなった、そんな光景ではなかったでしょうか？そこにはどこの家の子どもでも関係ない、悪いことは悪い、だから叱る。しかし、それは大人全員で子どもを育てるといふ愛情ある行為ではなかったでしょうか。

ところが今では、「他人と係わりたくない、係わると損をする」というような風潮となり、人と人との距離が日増しに遠ざかっています。それは他人に対する事だけでなく、家庭内でも「今日一日、家族と一言も口を利かなかった」というようなことや、しまいには親が子を殺し、子が親を殺すという最悪の事態となってしまうています。この原因は何なのでしょう？

無感情、無神経、無責任な、心に栄養の足りない人々が増えていきます。昔はこうではなかったと言いますが、そう言っている人の子ども達、孫たちが現代社会を担っているのです。

心の豊かさとは？

地球市民の会かながわの活動を通して私たちは多くの「他人の幸せを願う人々」、「他人の幸せを自分の幸せと思う人々」に出会ってきました。これらの人々は口を合わせて「愛情」という言葉を口にします。心の豊かさとは愛情の豊かさに大きく関係するのではないのでしょうか？

この世に自分以外誰もいなければ、自分もまた存在しません。本当はもっと人と係わりたいのに、そのすべを知らないのが現

代人ではないでしょうか？

先日「地球交響曲ガイアシンフォニー」という志を持って生きる人々を描いたドキュメンタリー映画を見ました。海、山、自然を愛し一体となるサーファー。沖縄の精神、目に見えないものを愛す芸術家、生命の神秘を職業とするお産婆さん。すべての生きものは地球という大きな生命体の一部であるという「ガイア理論」を打ち立てた学者。その他にも心に炎を燃やし、心に栄養を持った人々がたくさんいます。



彼らから学ぶことは、志を持って生きることです。彼らは地球とのつながりを感じ、日々を生きています。

できることから始めてみませんか？これが地球市民の会かながわのテーマです。出会いを大切にしましょう。広い視野を持ちましょう。

心に栄養を！

どのようにすれば心に栄養を得られるのでしょうか？「そうだ！まずは心に栄養がある人の話を聞いてみよう！」栄養のある人とは、分野を問わず、志を持って生きている人の事を言います。「この人達の話に聞こう！それじゃ私たちだけで聞いてはもったいない、多くの人に聞いてもらおう！」ということで地球市民の会かながわ“定例トークセミナー”は、2005年「心の栄養」をテーマに各方面からゲストを招き、心に響くセミナーを開催します。お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。*詳細は最終ページをご覧ください。

インド洋大津波 被災地より

平野 喜幸

タイ/ミャンマー調整員として長年にわたり地球市民の会かながわを支えてくださっている平野さんが急遽スリランカの津波被災地に赴き、現在緊急支援を行っています。まだ混乱が続いている現場から、その様子をレポートしていただきました。

被災地の一ヶ月後の状況

私がスリランカに来て一週間が過ぎた。被災後一ヶ月目の1月26日、私達はマータラのさくら幼稚園で新園舎建設のための地鎮祭を行った。ここに園舎を建てることになった経緯は、海岸線沿いにあるコンウェント、ブリリアンスターの二つの幼稚園が津波で大きな被害を受け、そこに通えなくなった園児の多くがさくら幼稚園に入園申し込みをしたことに端を発する。私が最初に訪れた1月23日、既に79名の園児の申し込みが来ていた。これから約一ヵ月半後の完成を目指して工事が始まった。

さて、被災地の状況はどうかというと「れんげ国際ボランティア会」の津波被災調査団として12月30日にはじめて現地を訪れた時と随分と変わってきている。コロンボからゴールに向かって南へ走る海岸線沿いの瓦礫の山はかなり片付けられ、被災者達はイギリス、インド、中国などから届けられたテントでの生活に入っていた。ねじれたり折れたりした線路は復旧工事が始まった。また、カルタラからベントタを通してアンバラゴダへ連なる海岸のリゾートホテルや土産物屋も営業を再開した所があり、西洋人の観光客姿をちらほらと見かけた。

しかしながら、政府の現地支援のあり方には至るところで不満の声が続出している。タイから贈られた大量の鶏肉が被災者に配られること無く倉庫に2週間以上放置され、腐らせてしまったという話に代表されるように、多くの支援物資が日の目を見ずに倉庫に眠ったままになっている。政府が支援を決めた仮設住宅の建設予定地でも、ある

場所の鍬入れ式に政府要人及び関係者が詰め掛けその費用に何百万ルピーも使われ、大々的に行われたが、肝心の住宅建設は一向に始まらないようだ。ハンバンタタでは壊れた住宅の跡地に住民が家を建てようとしたら、政府の方針でそこに建ててはいけないといわれ、代替地も与えられず住民は行くあてもない。このような話を現地にいると頻繁に耳にする。



被災地の村民とミーティングをする平野氏

私自身も実際に幾つかの村や学校などを回ったが、政府からの支援は食糧以外まだ何も届いていなかった。今回スリランカが津波被災のために海外から受ける支援は家を失くした全ての家族に家を支給することができる額を上回っているという。コロンボに帰ってみると政府は今回の被災支援金を復興のためではなく、高速道路の建設や鉄道の複線化事業に充てようという新しい開発の話まで出ているそうである。各国政府は支援金の額を競うのではなく、きちんと被災者に届く支援の仕方はないものかをもっと考えるべきではないだろうか。ここにもNGOの果たすべき役割がある。

インフォメーション

インド洋津波、支援物資出航！

北風吹く神戸の埠頭は、熱かった！

TPAK の友好団体神戸 ACEC(代表瓜谷幸孝)の呼びかけで当会がインターネット上の広報を担当しインド洋津波被災地に向けての支援物資の収集を行いました。

インターネットのボランティアサイトやメールマガジンに情報を流したところ、会員の皆様を含め、日本全国の大勢の方々からたくさんのご協力を頂きました。毛布や古着などの支援物資は22トン集まり、その他に消防車やトラックなど3台が集まりました。



近田事務局長、ミャンマー大使、鈴木理事

これらの物資は、被災国であるミャンマーに送られることになり、1月27日にミャンマー大使 Mr.U Saw Hia Min 氏をお招きし船積みする新港東埠頭で贈呈式を行いました。TPAK から近田事務局長と鈴木理事が立ち会いました。救急車は2月下旬にミャンマーに届き給水車として活躍するそうです。神戸の埠頭は六甲おろし、寒かったです！

皆様ご協力ありがとうございました。

ミャンマーの津波被害

ミャンマーの被害は、死者69人という比較的小規模なもので済みました。これは、津波の波動が東西に進んだため真北に位置するミャンマーは免れることが出来たからです。又、この日は、満月にあたり、月齢を重んじるミャンマーでは、労働をしない日であったため海に出ている漁師がいなかったそうです。因みに阪神大震災の日も満月だったそうです。

TPAK が法人になります

設立から12年、安定した活動も評価されます。ますます活発に活動する地球市民の会がかながわですが、最近では、JICA・JICS など国からの補助金も受けられるようになりました。さらにこの会を足腰強くするために現在、特定非営利活動法人に申請の準備を行っています。2006年の4月から法人として新たな出発をすることになります。

新潟中越地震被害地にボランティア

TPAK の若きホープ！韓流ボランティアのキム・デウォン君が新潟中越地震の被災地である小千谷市にボランティア滞在し、1ヶ月間 TPAK 名物のタイラーメンの炊き出しやお年寄りの住む住宅の雪おろしを行いました。現地では、仮設や被災者のご婦人達から「キムさま」と呼ばれ、すっかりアイドルになっていたそうです。

帰浜の日には、お米や卵などファンのお子様方にお土産をたくさん頂き、ボランティアされに行ってきましたと、元気で戻ってきました。詳しいレポートは、地球の仲間よりのページに。

ミャンマー料理教室ノのり巻き教室

年末年始に2つの料理教室が行われました。ミャンマー人のキンチーさんには、オーノーカオソエ(ミャンマーラーメン)とラベ(お茶サラダ)を教えていただきました。二品とも大好評で、その後 TPAK 関係者のお茶サラダブームが……。

会員の小西良子さんからは、海外に行った時に伝えよう日本文化！ということで、太巻き。参加者は一心不乱に巻き続け……。

今後もミャンマー料理、ミャンマー語、タイ料理などの講座をします。出張講座も出来ますのでお声をお掛け下さい。



4つの助成・表彰が決定しました。

2005年に入り、次のような助成や表彰が決定しています。TPAKは小さな会で、細く長い「草の根」の活動ですが、助成団体など各方面の皆様にご認めていただくということは、本当に光栄なことですね!!当会の活発な活動の原動力は、ボランティアの参加、ご協力とご理解など、会員、関係者の皆さまのおかげです。ありがとうございます。

(独)国際協力機構 JICA

草の根技術協力事業

「Health Education Project」

インド・ウタランチャル州の山岳地帯の学校における健康・衛生改善プロジェクト

(財)日本国際協力システム JICS

NGO 支援事業助成

「虹の架け橋」プロジェクト

タイ国チェンマイ市に事務所を開設し、タイとミャンマーにおける教育支援プロジェクトの橋渡しを行う。

(株)ソニーマーケティング&明治学院大学
学生ボランティアファンド

「MuuMuu プロジェクト vol.4」

タイ・アユタヤにある巨大孤児院に学生ボランティアグループが長期滞在し、子ども達の現状調査と交流を行う。

(財)さわやか福祉財団

ワンモアライフ勤労者ボランティア賞

勤労者が参加しやすいプログラムを提供しているボランティア団体を表彰。

チェンマイにオフィス開設

上記(財)日本国際協力システム JICS の助成により、チェンマイ市内に TPAK 虹の架け橋オフィスが OPEN しました。調整員は早稲田大学留学中に当会に3年間ボランティア参加なさったアンチェリー・インタジャックさんが非常勤で就任します。このオフィスの開設により、今まで別々だったタイとミャンマーのプロジェクトを日本も含む3角形で結ぶことが出来ます。3月には、早速タイ国チェンマイ県山岳民族の村メーター学校の校長先生をミャンマーにお連れし、長年の

寮運営のノウハウを新しく建ったティハムスエの学校寮に伝授します。

このことにより、当会の目標である、「人と人をつなぐ国際協力」、牽いては「国際協力団体が必要のない世界」につながるのではないのでしょうか?

“どこでもボランティア”奮闘中

職場や学校に置くだけの誰にでも簡単にできる「どこでもボラ・キット」。

今月は、野中理事のクリーニング屋さんの店先に置いていただきました。

キットは、2種類：

*ミットカンタノン・キット

*書き損じハガキ回収ポスト(6ページ参照)



ひまわりクリーニング中原店に置かれた「ドコボラ・キット」と「ハガキ回収ポスト」

スタディミッション地球隊2004夏タイ報告書「十人虹色」が完成しました。

お待たせしました!地球隊9人のメンバーが、タイ山岳民族や孤児院の子ども達や村人との触れ合いを通して得た感動の体験が、この報告書にぎっしり詰まっています。

一部500円で販売いたしますので、興味をお持ちの方は、是非この機会にお買い求め下さい。定例会でも、買えますよ!

書き損じハガキ、893枚!

2004年度一年間に、893枚のハガキを寄付していただきました。ご協力、誠にありがとうございました。

ハガキ1枚ぐらいと思われるかもしれませんが、タイやミャンマーの山岳民族の子ども達の給食費に換算すると、ハガキ2枚で1週間分、鉛筆ならハガキ1枚で9本分にもなります。

書き損じハガキは一年中集めておりますので、是非ご協力をお願いします。

インフォメーション

メージョー大学日本語の教師募集!

タイのチェンマイにあるメージョー大学では、一般教養学部近代東洋言語学科の日本語コースの学生を指導する方を募集しています。担当教官は、日本留学経験のある日本語が堪能な当会調整員のアンチャリー・インタジャックさんです。

(必要資格)

- 1) 日本語を母国語とする者で、日本語学、言語学など関係分野における修士課程、もしくは博士課程修了者
 - 2) 年齢は、25～50才(男女は問わず)
- 給与は、28,340バーツ/月です。
タイ語/英語の能力は問いません。
詳細は事務局までお問合せください。

12月度 理事会報告

恒例の忘年合宿を兼ねて、箱根湯本にある温泉「清風荘」で理事会を行いました。

日時:2004年12月12～13日(土日)

参加者:松澤、バックレイ、鈴木、飯山、山極、柳、加川、須藤、伊吾田、児玉

- 議題)1)インドプロジェクトの今後について
2)タイ・ミャンマー虹の架け橋プロジェクト
3)タイ国チェンマイ市内メーター学校卒業生のためのサラピー寮について
4)今後のミャンマー事業について

新たに取り組むインドプロジェクトの経緯、ミャンマープロジェクトの調整員引継ぎなど、温泉タイムをはさみ総勢10名で熱い議論が交わされました！
それにしても地球市民の会かながわは温泉好きが多いですね。



どこでも♥ ボランティア

職場や学校に置くだけの簡単な
ボランティアをしてみませんか？



ストリートチルドレンの アクセサリー・キット

親に捨てられ路上で暮らす子ども達が、心を癒すアートセラピーで作っているビーズやシルバーのアクセサリーをコンパクトなケースに収納しました。



書き損じハガキポスト

机の中に眠っている、年賀状など書き損じ官製ハガキを回収するポスト。ハガキは、郵便局で切手に換えたのち、現金化して活用します。

ボランティア体験記

地球市民の会かながわは、明治学院大学経済学部に参加型講義の一つである「社会参加実習」を受講した学生を受け入れています。今回インターンとして当会の活動に参加してくれた学生の体験報告を紹介します。

自分にできるボランティア 加藤 悠

今回活動に参加してみて、自分が持っていたボランティアのイメージが大きく変わりました。毎回楽しく活動できたこともあり、ボランティアという活動の根底にあるものは、「自分に出来ることを楽しくやってみる」ということなんだな、と強く感じました。また、たくさんの人とコミュニケーションをしたことで、様々な考え方を知ることができ、自分の視野が広まりました。人々が自分の生活の中で、「自分に出来るボランティア」を見出し、実際に行動に移すことで互いの不足を補っていけば、世界はよりよい方向に変わっていくと思います。

誰でも楽しく手伝える 斉藤 由紀

私はボランティア、NGO という言葉に対して少し重たい印象があり、気軽に足を踏み入れにくい感じがしたのですが、地球市民の会での活動は誰でも手伝えるような簡単な作業が多く、楽しんでやったことが結果的にボランティアになってい

くうちに、支援国であるタイやミャンマーについて様々な興味が湧いてきました。この会での活動は、自分にとって非常に良い経験になったと思います。

バザーに参加してみて 牧野 由佳

私が参加した活動の中で特に印象に残ったのは、バザーに参加して支援国の民芸品を販売したことです。その時、お客さんに「いらっしやいませ」と挨拶するのではなく、「こんにちは」と言うのだと教わり、とても驚きました。けれども、挨拶したお客さんに商品だけでなく、地球市民の活動に興味をもってもらうことも出来たので、大変嬉しかったです。また、実際にボランティア活動に参加してみて、外国や被災地へ行くといった、大変な決心が要るような事だけがボランティアではなく、バザーで品物を売ったり、多くの人に支援国の事を知ってもらうこともボランティアなんだなと感じました。



** 正会員になってこの活動を支えてください**

年会費： ¥6,000 振込先：郵便振替のほか銀行振込も可

【郵便振替】 00250 - 4 - 61894 (「入会」とご記入ください)

【銀行振込】 横浜銀行 新本牧支店 普通預金 1221533

名義：地球市民の会かながわ

銀行振込の際は事務局まで連絡先をお知らせください。



ボランティアも随時募集しております！事務局での作業、バザーでの販売、プロジェクトの支援など、さまざまな活動がありますので、皆様のご協力をお待ちしております。

昨年の新潟県中越地震により被災した方々を支援するため、現地へ飛んだ金さんからボランティア活動の報告が届きました。また、ポリビアの福間あき子さん、神戸の瓜谷さん、佐賀の松田さんから届いたお便りもご紹介します。

新潟地震被災地ボランティア報告

「イイ遊び」 金 大原

12月30日、私の誕生日に、新潟遊びが始まりました。30日バスで夜10時ごろ長岡に着きました。昔、韓国での軍隊時代に見た白い雪が目に入ってキレイだったし、何か懐かしかったです。泊まる場所がなく、長岡駅の交番に行って泊めてもらおうと思い、長い時間を使って話しましたが、うまくいきませんでした(T_T)。力がなくて、駅の周りがあったホテルに泊



まることにしました。長岡では4日間、福島ハートネットワークという団体でお世話になりました。

そのあと被害がひどかった

小千谷に行きました。ここでは元気村という団体のテントに泊まることになりました。次の日から仮設住宅でタイラーメンの炊き出しイベントを開きました。大成功でホンマに嬉しかったです。

タイラーメンのイベントが終わってからは、孤独死が起きないように一人で暮らしている人の家に行って色々な話をしたいと思って行動しました。でも、元気村では、みんなが一緒に行動しなければならなかったのが、新潟スピリッツという団体の人々を紹介してもらいました。ここでは個人的な行動ができるし、泊まることも

できたから、ホントにお世話になりました。ここでは、3~4日間は仮設住宅を行ったり来たりしながら、いい時間を過ごしました。

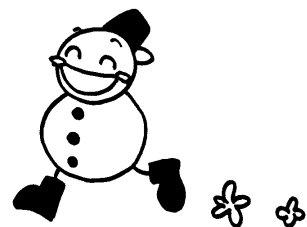
雪が降り始めてどこにも行けない状態になりました。この時から、私は考えを変えて雪おろしを始めました。毎日2~3軒くらいおろし、くたくたになりました。小千谷に住んでいる人たちは、昔から自分の家は自分の力で守るという気持ちが強い人たちです。でも、今度は大地震で地盤が柔らかくなったし、雪の量もひどいし、若い人もあまりいないし、少しの揺れでもビックリするほど心が弱くなりました。こんな人たちの笑顔はくたくたの私に十分な元気をくれました。

「やっぱり小千谷に来てよかった」と思いました。たった一ヶ月のボランティアでしたが、私は色々なことをさせてもらって、色々なことについて考えさせられたし、色々な経験と人々と出会って最高の旅でした。

皆さんの周りで復興のために頑張っている人がいることを忘れないで下さい。協力してくれた皆さん、ホンマにありがとうございました。

立ちあがれ新潟！立ちあがれ小千谷！

(2003年に日本語留学で来日した金君、日本語検定1級に合格しました。おめでとう！)



ボリビアより

福間あき子

こんにちは、ボリビアより、あきこです。連絡が遅くなりましたが、とっても元気です。

こちらは、時差が13時間なので今は夕方の16時です。今日でホームステイが終わり、語学学校も終わりました。早



いもので1ヶ月が過ぎました。今はラパスという富士山よりも高い所で生活しています。この高さにもすっかり慣れました。初めの2日間は頭痛や吐き気がありましたが、今は何の問題もないです。しかし、雲が近いですね。びっくりするほど、近いんです。太陽の日差しもとても、いたいんです。空気がきれいというより、太陽に近いという感じです。

17日に勤務地であるコチャバンバに移動します。10日頃から空港近くでデモなど、道路封鎖があるらしく移動日が延びたのです。ガソリンの値段が上がっている関係でデモなどが各地でおきるようです。命の危険はないですが、よくこんなことはあるみたいです。軽犯罪がとっても多い国でJICA関係者の被害が最も多い国だそうです。スリなどの被害が多いようです。目に見えて危ない国ではないので、気を付けていれば大丈夫です。それだけに慣れた頃が危ないですね。

ここで2年間を過ごせると思うと、本当に嬉しいですね。日本からこんなに遠くに離れて、ひとりでいれることは貴重な日々です。景色も人も、本当にはじめての場所なので新鮮です。これからどんな困難があっても、楽しみです。

事務局の皆さん、がんばって早く遊びに来てくださいね。

ではでは、また連絡しますね。お元気で。

震災 10 年を迎えて

瓜谷幸孝

今日であの阪神淡路大震災から10年目となりました。

思えば、2時間生き埋めの中からよく生きて出てくれたこと、その後放心状態の中、生きる気力も失せた時、一枚の励ましのメッセージ、一本の電話、お見舞いに来てくれた方、物資を送って頂いた人々、神戸にボランティアにこられた方、本当に良き人との出会いがあればこそ、こうして10年生きてこられたのです。

この10年何度も苦しい時期がありましたが、皆様から生かされてきました。この10年は長いようであり、短いようでもありました。本来ならばお一人、お一人にお礼にお伺いするところですが、書面にて心よりお礼申し上げます。

「ありがとうございました」。



佐賀げんき会を設立！

松田孝

ご無沙汰しています。こちらでは精神障害者の家族の会NPO法人「佐賀げんき会」を設立しました。

国際交流と障害者福祉と分野は違いますが、閉塞的な状況に「風穴」をあけてやろうと言う意欲は同じだろうと思います。閉鎖的な精神の分野で、マスコミを上手に利用する(TPAに似た?)手法は注目を浴びています。(新聞各誌には毎年登場)ご支援をよろしくお願いします。

名称を「佐賀げんき会」としました。元氣さこそ活動の源だと思しますので！

とはいえ、新職場はかなり忙しく、船のアテンドに世界を飛び回っており、ひたすらいい人材が現れないかと待ち望む日々です。まずは発足のご案内まで。

活動報告(12月24日～2月23日)

月 日	活 動 内 容	*敬称略
1月2日(日) ～8日(土)	インド「Health Education Project」調査ツアー第二弾 場 所 :インド北部ウッタランチャル州チャモリ郡 参加者 :鈴木良子理事、スタッフ佐藤恵	
1月9日(日)	新年トークセミナー「賀詩交換会」 場所:フォーラムよこはま	
1月16日(日)	地球市民フォーラム「MuuMuu プロジェクト孤児院調査 活動報告会」 場所 :本郷台 地球市民プラザ 金城、井上、青井、神戸、新谷	
1月19日(水)	庭野・JANIC 共同事業 助言委員会 委員 :近田事務局長	
1月20日(木)	財団法人さわやか福祉財団 ワンモアライフ勤労者ボランティア賞顕章式 出席 : 松澤会長、近田事務局長	
1月25日(火)	海苔巻き教室 講師:小西良子さん(TPAKボランティア) 参加:13名	
2月2日(水)	庭野・JANIC 共同事業 助言委員会 委員 :近田事務局長	
2月13日(日)	理事会+温泉+タイ料理 場所 :事務局	

寄付のご報告(2004年12月16日～2005年2月3日) *敬称略

<u>文具その他のご協力</u>		<u>タイ:メーター奨学基金</u>	
佐藤 元子	中区	高瀬 哲	磯子区
上岡 茜	栃木県下都賀郡	加川 健司	津久井町
岩田 侑子	栃木県下都賀郡	白石 淑子	川崎市
サピックス青葉台校	青葉区	<u>販売協力ほか</u>	
<u>はがき</u>		PK サイアム有限公司	東京都墨田区
竹内 かほる	西区	野中 伸晃	港北区
栗田 明	三重県津市	<u>地球子ども基金</u>	
横山 肇	中区	升本 栄子	東京都世田谷区
坂本 菜穂子	中郡大磯町	小黒 裕一郎	磯子区
駒崎 奉子	野田市	仁科 歌子	東京都世田谷区
秋元 裕美子	中区	早坂 毅	南区
<u>寄付金</u>		庄司 かつ子	栄区
早坂 毅	南区	<u>サラビー学生寮 大家さん</u>	
(財)横浜市女性協会	西区	加川 健司	津久井町
NPO 法人アロマビューア	南区	白木 恵美子	南区
野中 伸晃	港南区	森 久子	鶴見区
村山 達	川崎市	<u>その他</u>	
バックレイ 麻知子	東京都港区	伊吾田 善行	中区
ひまわりクリーニング中原	磯子区	近田 真知子	中区
兼藤 数子	東京都世田谷区	<u>スタッフ人材支援</u>	
白石 淑子	川崎市	アークス	東京都江東区
野川 思華	東京都品川区	<u>助成金</u>	
梶 永源	東京都渋谷区	(独)国際協力機構 JICA	
<u>インドプロジェクト</u>		(財)日本国際協力システム JICS	
バックレイ ロジャー	東京都港区	(株)ソニーマーケティング&明治学院大学	
<u>インド洋大津波カンパ</u>		(財)さわやか福祉財団	
定例会参加者		<u>ルンナパー奨学金</u>	
<u>ミャンマー:学校建設</u>		今 満里子	藤沢市
米山 藤夫	新潟県魚沼市	鈴木 良子	港北区

活動予定(2月24日～4月29日)

月 日	活 動 内 容
3月6日(日) 午前	地球隊2005 ミャンマーへの旅・オリエンテーション 場所：みなとみらいランドマークタワー13Fフォーラムよこはま セミナールーム2 時間：10:00～12:00
3月6日(日) 午後	定例トークセミナー 最終ページをご覧ください。 「音楽からもらう心の栄養」 どなたでも参加できます。 場所：みなとみらいランドマークタワー13Fフォーラムよこはま セミナールーム2 時間：13:00～16:00
3月7日(月)～ 4月8日(金)	タイ・ミャンマー現地調整出張 虹のかけはしオフィス開設ほか 近田事務局長
3月23日(水) ～30日(水)	スタディーツアー地球隊2004 ミャンマーへの旅 訪問予定先：ムエタノン小学校、ティハムス工学校寮、マンダレー 参加：15名予定
3月25日(金) (予定)	COOP かながわ福祉ファンクラブバザー ボランティア募集中！ 場所：神奈川県民活動サポートセンター 時間：10:00～16:00
4月10日(日)	理事会 理事はご出席ください。 場所：事務局(予定)
4月24日(日) (予定)	ソクラン祭 (タイ人留学生協会主催) ボランティア募集中！ 場所：都立葛西工業高校(都営新宿線「一之江」駅下車 徒歩5分) *場所は未確認です。事務局までお問合せください。 時間：9:30～16:00
4月29日(祝)	サンモール・インターナショナル・スクール・フェア ボランティア募集中！ 場所：中区山手町 外人墓地そば、元町公園前入 時間：10:00～16:00

継続会員紹介

今回正会員を継続された方です。

白木恵美子(南区)、小黒裕一郎(磯子区)、山口みどり(松戸市)

ボランティア

新しくボランティア登録された方です。

会員紹介

増田隆太(青葉区)、坂本菜穂子(中郡大磯町)

地球市民の会かながわ募集中プロジェクト

メーター奨学基金 (一口1,000円より)

タイ国メーター村中学校を卒業した生徒たちが進学するための基金。皆様からのご寄付をプールし、基金とします。この基金が山岳民族の子ども達の明るい未来を切り開く手助けとなります。

地球子ども基金 (一口1円より)

タイ・ミャンマーの農村や少数民族の子ども達の教育や生活に関する現地のニーズに合わせた支援のための基金。的確な支援や緊急時に対応することが出来る大変有効な基金です。

サラビー寮 新設プロジェクト「大家さん募集!!」

チェンマイ郊外サラビーに廉価な家を借り上げ、メーター学校を卒業し高校や専門学校に進む生徒の寮とします。

振込先: 郵便振替 00250 - 4 - 61894 地球市民の会かながわ(通信欄に基金名をご記入下さい)

かながわ便り編集スタッフ: 島田克彦、海老原峰子、佐藤恵、若名高彰、土肥香織、中村桃子、村山知子、増田岳文

難波一宏、中野登茂子、近田真知子、伊吾田善行 イラスト: 飯山菜穂

印刷・発送: 北見正義、山極由紀子、矢島倫子、金戸啓恵、近田真知子、伊吾田善行

3月6日
(日)



定例トークセミナー のお知らせ

“心に栄養足りていますか！？”「心の栄養」シリーズVol.1

「音楽からもらう心の栄養」

ゲスト：五味雅彦さん アジア子ども教育センター(ACEC)荒川船橋支援会事務局長

【第一部】講演 ゲスト：五味雅彦さん

中学校の社会科教師、国際人養成道場を通して、多くの生徒たちと接しながら伝えたいと思うのは、『知識理解だけでなく「実行力実践力」「創造力想像力」の必要性』です。自然と切り離され、心のエネルギーを失っていく「ふれあい栄養失調症」の日本の子どもたち。一方、物資もお金も施設もないタイ農村部には、幼い子どもから老人、自然や動物達との強い絆と慈悲心で結ばれた連帯社会があります。この対照的な二つの地域社会を結ぶところに、双方向の相互援助、共働意識、シナジー効果などのヒントがあるように思うのです。ACECの活動を通して『生きがいの架け橋』をたくさんかけることができたらいいな、と思うのです。(五味氏)

音楽をこよなく愛す、五味さんが音楽を通して生きることのすばらしさを語ります。音楽に秘められたメッセージに触れてみませんか？

【第二部】地球市民の会かながわプロジェクト状況

ボランティアさんによる現地報告(タイ国コンケン県)

・小西良子さん…「子ども達から学ぶこと」

開発教育体験ツアー“移動寺子屋教室メッター”に参加したいつも元気いっぱいの小西さんの報告です。

事務局より現地報告

・タイ国チェンマイ県メーター学校、ミャンマー国、

インド国などより、プロジェクト最新情報をお伝えします。

～定例トークセミナー会場～

桜木町ランドマークタワー13F
フォーラムよこはま
セミナールーム2

時間:13:00～16:00

会費:300円



～懇親会～

場所:JR 桜木町駅前居酒屋庄屋

会費:2000円位(学生割引アリ)

～前回のトークセミナーの報告～

早いもので2005年も5分の1が終わってしまいました。賀詞交換会で立てた今年の目標は順調に進んでいますか？私は1人1人の大きな目標と自分ができることを始めているボランティアの大島さんと高久さんの発表を聞くことができ、大きな刺激になりました。

“できることから始めよう”ますます活動の幅が広がる地球市民の会かながわの2005年も笑顔で楽しくスタートすることができて、とても嬉しかったです。

子ども達の笑顔のためにまずは自分が笑顔になりましょう！

定例会委員 飯山



地球市民の会かながわ便り

平成17年3/4月号

[通巻69号]

<定価1000円>

発行:地球市民の会かながわ/TPAK

住所:〒231-0821

横浜市中区本牧原3-1-203

Tel&Fax: 045-622-9661

E-mail: port@tpak.org

URL:http://www.tpak.org